

地域調査演習 H

2 units (selection) 2nd-year(1st semester)

Shuji Kitamura · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES, Makoto Nakajima · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 本授業では、地域問題を考察・解明するのに不可欠な地域調査を行うための研究方法、さらにその調査結果を分析しまとめる方法の修得が課題である。このため、研究テーマを設定し、統計資料分析、現地調査から、地域の実態と、それを踏まえた新たな地域政策をも解明することにある。地域調査演習 H の前期では、こうした地域調査に不可欠な研究手法や分析手法の基礎を、後期では、調査結果を分析する際の方法を学ぶ。

Outline) 地域課題を考察するのに必要な地域調査と資料・統計分析法の習得

Keyword) フィールドワーク 地域情報 情報分析

Notice) 地域調査演習 H では地域調査の基礎と技法を、地域調査法 IH・III では地域調査の実践と応用を学ぶので、両者を併せて前後期とも受講すること。ただし、本授業は実習的な性格をもつため、受講者数を制限する場合がある。

Goal) 地域調査に必要な調査方法とデータ収集・解析に関する基本的な手法を身につける。

Schedule)

1. 地域調査の目的と意義
2. 地域調査について (1)
3. 地域調査について (2)
4. 地域調査について (3)
5. インターネットを用いた情報・文献の検索・収集法 (1)
6. インターネットを用いた情報・文献の検索・収集法 (2)
7. 地域および地域政策に関する資料・統計等データの収集法 (1)
8. 地域および地域政策に関する資料・統計等データの収集法 (2)
9. 地域調査の事例紹介 (1)
10. 地域調査の事例紹介 (2)
11. 地域調査の事例紹介 (3)
12. 地域調査の事例紹介 (4)
13. フィールドワークの方法 (1)
14. フィールドワークの方法 (2)
15. フィールドワークの方法 (3)
16. まとめ

Evaluation Criteria) 授業中の課題やレポート、発表内容や授業への取り組み状況をもとに評価する。

Re-evaluation) 無

Textbook) 本授業では教科書は指定せず、必要な資料については適宜配布する。

Reference) 必要な参考資料については適時紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218830>

Contact)

⇒ Kitamura .

⇒ Nakajima (2218, +81-88-656-7181, makoto@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) 平成 24 年度開講